

なつとくのお話



「ふるえの話」

～ふるえの青・黄・赤～

日時:平成 19年9月20日

場所:地域医療研修センター

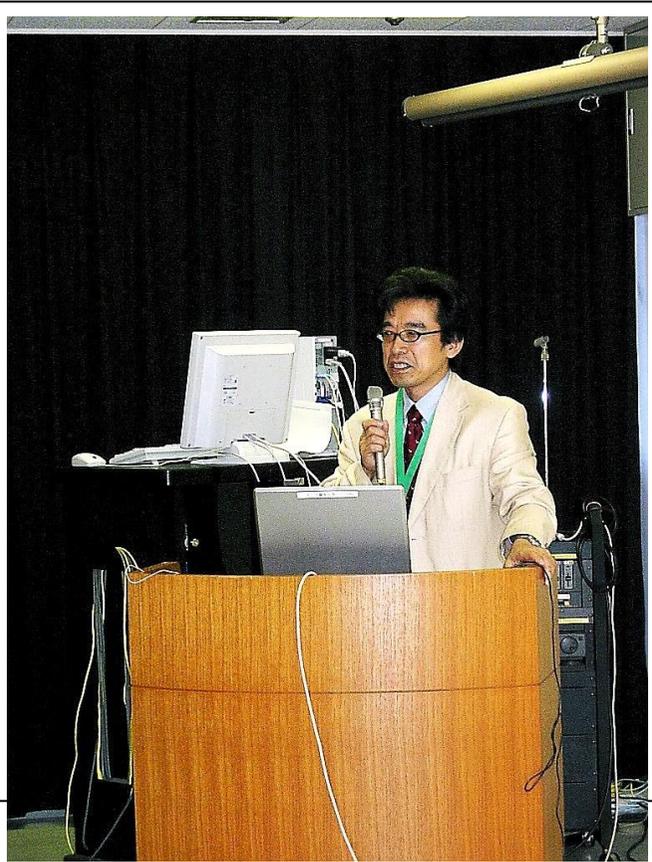
講師:坂尻顕一先生(神経内科)

金沢医療センター公開講座

「話題の病気シリーズ」

～ちょっと聴いてみませんか～





青色：一時的で生理的なもの放置してもいいが生活に支障があるもの

例：書字、署名するとき、細かい作業するとき手が震える
→40歳以上の5%方で「本態性振戦」のふるえに悩んでおられます。
患者さんの体に合ったお薬でふるえが軽減する場合があります。

黄色：全身性疾患の一症状であるもの、薬剤性のもの

全身性疾患：甲状腺機能亢進症・糖尿病・肝臓病・腎臓病
→もとの病気を治療する、ふるえを抑える薬で軽減します
薬剤性：胃腸薬の一部・抗精神薬などの副作用
→原因薬の減量・中止で軽減します。

赤色：脳神経疾患であるもの

脳神経疾患：パーキンソン病・脳卒中・てんかんなど
→診察・頭部CT・MRI・脳波などで診断し、適切に治療すれば軽減します。



「ふるえ」との付き合いが長いから諦める、あるいは命が奪われるわけではないからと放置する方がおいでるかと思いますが、「ふるえ」は体の異常の信号です。気になる方は、当院、神経内科の「ふるえ外来」（毎週金曜）の受診をおすすめします。その際には、通院中の病院からの診療情報提供書や処方内容をお持ちいただければ幸いです。